

2020年度 部門 特養なごみ 事業計画書

1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】 予定：稼働率 98.5% 14,500 万円

・月ごとの収入上限が固定されている為、長期入院時のショートのお空床活用及び早期退院調整を実施。またご逝去等による空床を最小限に抑える為に、事前面談を行い、1 週間以内の新入居のアプローチを実施。

【支出項目特記事項】

- ・各ユニット台所に浄水器設置予定（予算 35 万円）
- ・設備修繕費用（予算 50 万円）
- ・ナースコール取り替え費用（予算 400 万円）
- ・機械浴リース・寝台浴メンテナンス（予算 100 万円）
- ・外部研修：認知症実践者研修、全国ユニットケア研修・宅老連続研修・他施設実習など（予算 30 万円）

2. 職員（育成・研修など）

・職員体制は 2019 年度開始時期と比較し、新人職員が 2 名で同体制となる。前年度同様、新人職員には法人研修及び部門内新人基礎研修、OJT を丁寧に行っていく。また、全体研修も引き続き開催し、外部研修にはリーダー候補職員を中心に積極的に参加していく。

・前年度は毎月、全体研修を開催していたが、職員 1 人ひとりが自由闊達な意見交換を行う場、自身の支援を振り返る場、次の支援に取り組む為の場、チーム力向上を目指す場として、計 2 回なごみのお年寄りの支援に関して話し合う場を設け、法人理念及び職員 1 人ひとりが輝ける特養なごみを目指していく。

3. 事業内容（おもな企画） 下記、事業計画一覧参照。

・2021 年 4 月になごみ感謝祭開催予定。その為、2021 年 2 月から準備を開始していく。また、「個別外出企画」はお年寄りの声を中心に企画立案していく。全体研修「お年寄り理解」は、ご入居者さんの支援内容検討、全体共有をする場とする。

個別支援に視点をあて、入居者さんの思いや声を形に出来るように支援していき、もっとこんなことがしたいと言える環境を築いていく。そのような実践を繰り返していくことで、職員もなごみで働きたい、もっとこんなことしたい、という活気ある職場を目指していく。

年間事業計画（予定）

月	内容		
4月	・造幣局花見・各ユニット花見 ・全体研修「各ユニット事業計画」	10月	・個別外出企画② ・全体研修「身体拘束・虐待防止」
5月	・母の日・ツツジ見学 ・歓迎会（お年寄りも一緒に）	11月	・秋の遠足 ・全体研修「感染症」
6月	・父の日・住吉大社のお田植 ・全体研修「接遇」	12月	・忘年会・家族会 ・全体研修「食中毒」
7月	・個別外出企画①	1月	・初詣

	・全体研修「認知症理解」		・全体研修「お年寄り理解②」
8月	・納涼祭（花火大会） ・全体研修「お年寄り理解①」	2月	・我孫子観音 ・全体研修「実践報告」
9月	・敬老の日 ・全体研修「リスクマネジメント」	3月	・ふらっと楽しむ住吉 ・全体研修「年度の振り返り」

2020年度 部門 特養（短期入所） 事業計画書

1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】年間予算見込み:2200万円 年間平均稼働率:95%

- ・緊急ケースによる入居を見据えた長期ショート利用者2名を維持した状態での事業運営を継続していく。また入居の入院者発生時の空床を活用し、稼働率向上を図る。
- ・定期利用者を確保する為に、ケアプランを作成し、個別での支援強化を図る。

【支出項目特記事項】

- ・個室・多床室の環境整備(必要備品の購入) 3万円

職員・事業内容は下記の件以外は特養と同じ

- ・送迎可能な職員の育成(運転技術向上)
- ・各事業所への営業及び広報活動

2020年度 部門 なごみ通所介護 事業計画書

作成者：石川・門馬・川端・澤田・辺見

1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】

5500万円。平均稼働率90%を目指し、予算達成することを目標。

【支出項目特記事項】

電化製品の劣化と施設物品の老朽化に伴う故障が生じた場合
リフト浴槽（約380万）、浴室エアコン、洗濯機

2. 職員（育成・研修など）

- ▼定期的な内部研修（常勤・非常勤）の実施
テーマ：自律支援・接遇・介護技術

→ヒヤリハットの気づきと利用者アンケートの取組からの振り返りとして、接遇、介護技術に関する気づきや課題が多かった。

目標としては、内部研修を通して同じ内容（状況）のヒヤリハットを改善（解消）していく。

▼外部研修への参加

石川副主任→・大阪市認知症介護実践者研修

辺見介護職→・福祉サービスの倫理と基本理念「福祉の基本と対人援助」

・福祉従事者向け研修：キャリアパス対応生涯研修課程 初任者コース

川端介護職→・OJT中心での育成

3. 事業内容（おもな企画）

年間行事の充実を図り利用者の満足度をあげる。

他部署や介護予防ポイント事業等含め、地域資源を活用した協働の展開を図る。

年間事業計画（予定）

月	内容	10月	秋の遠足、品質向上月間
4月	お花見	11月	秋の遠足、品質向上月間
5月	母の日、端午の節句、粗大ごみ回収	12月	クリスマス会
6月	父の日、保育所交流会、夏期人事考課	1月	新年会
7月	流しそうめん、防災訓練	2月	節分
8月	納涼祭	3月	ひな祭り、ふらっと楽しむ住吉、避難訓練
9月	敬老会		

2020年度 部門 なごみヘルパーステーション（訪問介護） 事業計画書

作成者: 島 恭子

1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】

5400万円

2019年度後半より入院、入所のご利用者さんが大幅に増となった。入所に至る背景には本人の意志より家族さんの生活状況・希望が重視されていることも少なくない。入所や入院、ご逝去と介護度の高いヘルパーの利用率の多い方の減少分を補う事は新規依頼の減少している中、簡単なことではなく2019年度後半の月450万平均で年5,400万を目標とする。新規獲得は厳しい状況ではあるが生活支援型のケースであっても受け入れ可能な範囲で対応していく。

【支出項目特記事項】

介護記録のデジタル化検討（残業代の削減）

2. 職員（育成・研修など）

部署内 毎月の学習会（企画する側のスキルアップも含む）

法人研修（非常勤ヘルパーも参加可能な研修で有れば参加する）

上山ヘルパーサービス提供責任者としての育成（サービス提供責任者研修）

3. 事業内容（おもな企画）

年間事業計画（予定）

月	内容	2～3月	健康診断
毎月	学習会		
5月	懇親会		
9月	お疲れさん会		
10月	検便		

2020年度 部門 なごみケアプラセンタ（居宅介護支援） 事業計画書

作成者：石田・笠原・門馬・城山・山岡

1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】

収入 23,000 千円

事業所加算Ⅱ継続（1名あたり 35名以上 40ケース未満目標）

※特定事業所加算Ⅱ算定要件（項目9）介護支援専門員1人（常勤換算）の利用者数（介護予防含む）が40名未満

【支出項目特記事項】

ケアマネ・主任ケアマネ、更新（新規）申請費用。

2. 職員（育成・研修など）

▼なごみの“顔”となってくれる職員の育成。

部内ミーティング強化（OJT）＋各連絡会等、地域単位の外部研修（OFFJT）

▼ケース状況や、支援の深さに応じた担当数の調整を図る。

マネジメントの質的向上・維持を図る為、又、個々の職員が、利用者や支援者間と共に、やりがいや生きがいを感じた支援に結びつく実践を紡ぎだしていきけるよう、個の負担感の解消やメンタルケアにも力をいれていきたい。

3. 事業内容（おもな企画）

▼住吉中学校区エリアへの積極的な受入れ。

迅速、丁寧な関わりを深め地域の相談窓口を目指す（利用者アンケートの取組）

▼新規利用者においては担当ケアマネとあわせ管理者が同行訪問

顔の見える関係性を大事に内外における連携に結びつけていきたい。

- ・なごみーていんぐ・粗大ごみ回収（5月）・人事考課（6月、11月）・夏の大感謝祭（7月部内交流会）・品質向上月間（10月、11月）・なごみ新年会（1月）

年間事業計画（予定）

月	内容	月	内容
4月	なごみーていんぐ	10月	なごみーていんぐ・品質向上月間
5月	なごみーていんぐ・粗大ごみ回収	11月	なごみーていんぐ・品質向上月間 住吉区総合防災訓練
6月	なごみーていんぐ・	12月	なごみーていんぐ
7月	なごみーていんぐ・なごみ防災訓練 ・夏の大感謝祭	1月	なごみーていんぐ・なごみ新年会
8月	なごみーていんぐ	2月	なごみーていんぐ
9月	なごみーていんぐ	3月	なごみーていんぐ・なごみ防災訓練

2020年度 部門 小規模多機能型居宅介護 きずな 事業計画書

1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】

収入⇒7200万円

根拠⇒2020年度は登録22名スタートとなるため、前年度と同等の収益をあげることが難しい。全体で介護予防（要支援）の方の割合も増えてきているので、平均介護度も上がりにくい傾向にある。新規利用者は積極的に受け入れをしていき、中重度になっても支え続けていける小規模多機能の強みを活かしていきたい。

サービス体制強化加算の変更（Iロ⇒Iイ）に伴い特定処遇改善加算も0.3%アップするため、最低でも50万円前後の増収見込める。

【支出項目特記事項】

- ・5月⇒開設記念祝い(3万円)
- ・10月⇒加湿付き空気清浄機⇒(20万円)
- ・2月⇒「食」について学ぶ。他施設交流で味噌作り(3万円)

<老朽化に伴い故障次第買い替えが必要な物品>

- ・冷蔵庫・ホットキャビ(おしぼり保温)・コピー機

※重度の方のケアにおいて浴室リフトのリースも検討

2. 職員（育成・研修など）

2019 年度と変わらない職員体制でやっていけるため、役割が特定の職員に集中しないよう調整を図る。

研修においては、2019 年度に予定していた地域密着型サービス部門での合同研修が実施することができなかつたので、研修を通して日々の連携も強化していきたい。

⇒※2 回/年(半期に 1 回)の合同開催が目標

3. 事業内容（おもな企画）

大きな催しなど、主な内容は変わらず実施していく予定。

年間事業計画（予定）

月	内容	月	内容
4 月	さくらまつり	10 月	秋の外出
5 月	きずな開設記念、つつじ鑑賞	12 月	忘年会、バザー
7 月	保育所交流会	1 月	住吉小学校交流会
8 月	サマーカーニバル	2 月	節分、あびこ観音お参り
9 月	老人会「敬老会」	3 月	ふらっとたのしむすみよし

2020年度 部門 住吉区北地域包括支援センター 事業計画書

作成者 東 美智代

1. 収支（予算）

【支出項目特記事項】

大阪市からの委託事業。介護予防支援事業のケアプラン料。

2020年度より自立支援型地域ケア担当 0.5 配置となり委託料プラス。

2. 職員（育成・研修など）

前年度に引き続き、法人内外の相談職の研修を実施し、相談員のスキルアップを図る。

3. 事業内容（おもな企画）

幅広い世代の地域住民が、自分の人生に責任をもって高齢期が過ごすことができるように必要な情報を獲得し、自分の望む暮らしを主体的に考え、備えることができる仕組みを作る。

①本人・家族支援

- ・本人や家族が終末期の一步手前の介護や暮らしについて考え、想像し、準備する機会をもつことができるような機会をつくる。(活動報告会や出前講

座、啓発活動)

- ・住民が自主的に通い、見守り見守られ、介護予防に取り組むことができるつどいの場の運営や運営を支援する。(介護予防教室、将棋オセロクラブ、きまぐれカフェなど)

②地域連携支援

- ・対応が必要なケースの早期発見早期対応のため、行政、地域、介護保険事業者、金融機関など関係者と連携し、介入のタイミングをはかる。(すみきち新聞の発行、定例会議への出席)
- ・地域力を底上げし、地域からの孤立を予防するため、地域対象に広報や啓発活動を行う。
- ・小地域単位での活動報告会や住民交流会を実施し、総合相談の現況や当包括の実践を発信する。(出前講座、出張相談会、地域のサロンやふれあい喫茶への定例参加など)

③支援者連携支援 (ワゾチーム、在宅医療介護連携相談室、生活支援コーディネーター含む)

- ・支援者の多職種連携、他職種理解を促し、適宜必要な支援機関と連携し、制度が活用できるようになる。(なごみーていんぐ、専門職団体との合同研修会の企画、るるるネット、どらやきの会、居宅部会など専門職団体の会議への参加など)

④行政への働きかけ

- ・多職種連携、他職種理解の必要性をより理解していただき、適時適切に協働できる関係性を構築する。(地域ケア会議)
- ・ペットを飼っている高齢者への援助における社会資源とのネットワーク構築や新たな社会資源創出に向けた意見交換」のために会議や勉強会を開催。

年間事業計画 (予定)

月	内容	年 4 回	振り返りの地域ケア会議
年3回	北包括版 広報誌発行	6月～	家族介護支援事業
年3回	法人内外の相談職の研修	10月頃	老いと向き合う講演会
年3回	活動報告会	随時	出張相談会・出前講座
年1回	ケアマネと民生委員との交流会	随時	小中学校向け福祉教育
月2回	健康教室	随時	圏域内事業所への研修や交流会
月1回	介護福祉健康相談会(東粉浜・他)	随時	集い場づくり

2020年度 部門 住吉区北地域包括支援センター（介護予防支援） 事業計画書

作成者 東 美智代

1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】

収入：ケアプラン料

【支出項目特記事項】

一部委託率のバランスをとり、収入増を目指す。

2019年度と職員数に変化ないが、一部委託の件数が微増傾向にあり、現状維持か微増傾向の予定。

2. 職員（育成・研修など）

法人内の相談員研修を継続して実施（予定）。一部委託先のケアマネジャー対象にケアプラン研修を企画開催予定。その他、介護保険事業者連絡会や認知症関連事業、在宅医療介護連携事業などの企画する研修などへ参加予定。

3. 事業内容（おもな企画）

包括事業と動きをあわせて、圏域内のケアマネジャーのスキルアップや横のつながり作りを行う。

2020年度 部門 大領地域の家であい（小規模多機能）事業計画書

1. 収支（予算）6,300万

【予算収入と根拠】

4月は、登録者21名平均介護度2.2（要支援者含む）開始となる見込みです。

新規相談も継続的に頂いている状況であり、積極的受け入れを行っていきます。介護区分の上昇も見られること、平均登録者22～23名を想定内とし年間予算の計上を行いました。

【支出項目特記事項】

【研修】

【備品】 ●防災用品（飛散防止シート）・つっぱり棒【50,000】 電動付自転車【100,000】

2. 職員（育成・研修など）

日々の中で、様々な価値を認め合い、多様な視点の人材育成を目指します。

- ・ 元気よくあいさつ
- ・ 会議の充足化
- ・ ケアカンファレンス
- ・ 報告連絡相談連携の強化

3. 事業内容（おもな企画） 年間事業計画（予定）

月	内容	月	内容
4月	お花見(中止)	10月	であい感謝祭
6月	保育所交流会	11月	保育所交流会
7月	流しそうめん	12月	忘年会
8月	南万領盆踊り・食事会	1月	であいの正月・初詣
9月	敬老の日	2月	節分

2020年度 部門グループホームであい事業計画書

1. 収支（予算）4,800万

【予算収入と根拠】

継続的に待機者が居られる状態を維持すると共に、待機状況の確認を区内外におけるネットワークにより強化していきます。また、入居者さんの体調管理に留意する事で、安定した運営が見込まれる事から上記の予算計上を行います。

【支出項目特記事項】

【研修】 ●兵庫県宅老連連続研修 【16,000】

【備品】 ●防災用品（飛散防止シート）・つっぱり棒【100,000】 防災備蓄食【30,000】

2. 職員（育成・研修など）

職員一人一人が使命・目的をしっかり理解した実践。

入居者さん個々の日常、習慣を知る。

日々の中で、様々な価値を認め合い、多様な視点の人材育成を目指します。

- ・ 元気よくあいさつ
- ・ 会議の充足化
- ・ ケアカンファレンス
- ・ 核となる職員の育成

3. 事業内容（おもな企画） 年間事業計画（予定）

月	内容	月	内容
4月	お花見(中止)	10月	であい感謝祭
6月	保育所交流会	11月	保育所交流会
7月	流しそうめん	12月	忘年会
8月	南万領盆踊り・食事会	1月	であいの正月・初詣
9月	敬老の日	2月	節分